

# 3月21日は「バルブの日」

日本バルブ工業会  
広報副委員長  
奥津 良之氏

対談  
日本工学会副会長  
広崎 膨太郎氏

## イノベーションには温故知新



昔のことに  
勉強して理解  
奥津 日本工学会  
は、とても歴史ある団  
体ですね。バルブ業界



## 若者の力、黎明期を作る

バルブは産業プラントやインフラ設備などに  
いて、流体をコントロールする要。バルブ業界は  
他の基礎産業と同様に、グローバル競争を生み抜  
くための時代を切り開く若手技術人材の育成が喫緊  
の課題である。今年の「バルブの日」対談では、

## 技術者人材の育成に向けて イノベーションとデザインカ



ごあいさつ

## 異業種間ネット、重要度増す

現在、人工知能(AI)の速度で進化する。新たな挑戦をするために、経済産業省  
I)やIoT(モノ)の導入に導かれ始め、形材産業が中心となっ  
ンターネット)といったテーマで、第四次産業革命のいかに  
新たな技術や考え方が、命とも呼ばれる大きな企業を  
会変化の中に、いかに実感を味わうか、という課題の中  
て、ひびく時が。こうした課題を話し合  
代の動きを感じつつ、こうして話を話  
日本バルブ工業会会長  
中村 善典

では科学技術イノベ  
ションができる人材の  
育成が課題ですが、そ  
育成が課題ですが、そ  
育成が課題ですが、そ

広崎 膨太郎氏 ひろき・ぼつたろう  
1946年生まれ。2008年NEC代表  
取締役執行役員副社長、現在、特別顧問。日本  
工学会副会長、CPD協議会副会長を務める。

国内95の工学系学会・協会を構成する日本工学会  
の広崎副会長(NEC特別顧問)と、日本  
バルブ工業会の奥津副委員長が対談。次  
世代技術者の教育のあり方やイノベーションを育  
む秘訣などについて語った。

奥津 良之氏 おくつ・りょうじ  
1957年生まれ。アズビル・アカデミー  
技術部長。日本工学会フェロー。計測自動制御  
学会フェロー。国際電気標準会議ではTC65  
/SC65B/JWG17で議長を務める。

「万が一業会議を開  
き、海外から約30  
0人を含むエンジニア  
4495人を呼んで、  
日本の工業技術と日本  
企業の紹介を行い、高  
い評価を得たそうで  
す。当時、全編英語で  
日本の産業が紹介され  
た「INDUSTRIAL  
ALIZED NEW  
JAPAN」形式知だけで  
JAPAN NUM  
BER」が発行され、  
参加者に配られていま  
すが大変貴重な資料で  
す。またこの会議は世  
界の工学関係団体の連  
合体である世界工學団  
体連盟(WFEO)創  
設の契機となりまし  
た。これは中心メンバ  
さんなどが中心メンバ  
ーになって2015年  
に京都国際会議場、開  
かれた「第5回世界工  
学会議(WEC201  
5)」にまでつながっ  
ているので、明治  
や大正という時代の  
大きなダイナミクスが  
きなうねりがあったか  
らこそ、今がある訳で  
す。基礎産業に立  
場からみると、昭和  
平成にモノづくりは進  
歩しましたが、根本的  
な議論が確立されたの  
かと思うのです。

敗戦後には驚異的な高  
度経済成長をもたら  
しました。ではなぜ、日  
本がそうした歴史をた  
どってきたのか。マイ  
ケル・ボランニーとい  
う科学哲学者が人間社  
会には「認識知」と  
「形式知」だけでな  
く、言葉では言い表  
せない創造能力として  
「暗黙知」という不  
可視な能力が動くとい  
う議論が提唱されて  
きました。奥津 暗黙知の重要  
性はよく聞きますが、  
それが野中郁次郎一橋  
大学名誉教授が経営哲  
学に置き換えて「暗黙  
知は形式知に置き換  
えられないものでし  
ょう。経験でしか得  
られない組織の知レ  
ベルが上がる、また  
新しい暗黙知ができて  
くる。私たちがこれ  
をどう育てていくか  
が、経済成長を実現  
したのですが、「暗黙  
知」や「賢慮」を踏  
まえて、人を教育で  
変えていくことが  
難しいと感じま  
す。

3つの知が  
不可欠  
広崎 科学や工業、  
哲学・美術も含め世界  
で大きなパラダイム  
の変化の時だったので  
しょう。アジアでは日  
本が先頭になって近代  
化を成し遂げ、それが  
三つのレベルがあり、  
シニタインが、ふと  
てよく知っています。

奥津 文化とか国民  
性が育まれて今の日  
本があるわけですが、  
それを野中郁次郎一橋  
大学名誉教授が経営哲  
学に置き換えて「暗黙  
知は形式知に置き換  
えられないものでし  
ょう。経験でしか得  
られない組織の知レ  
ベルが上がる、また  
新しい暗黙知ができて  
くる。私たちがこれ  
をどう育てていくか  
が、経済成長を実現  
したのですが、「暗黙  
知」や「賢慮」を踏  
まえて、人を教育で  
変えていくことが  
難しいと感じま  
す。

奥津 文化とか国民  
性が育まれて今の日  
本があるわけですが、  
それを野中郁次郎一橋  
大学名誉教授が経営哲  
学に置き換えて「暗黙  
知は形式知に置き換  
えられないものでし  
ょう。経験でしか得  
られない組織の知レ  
ベルが上がる、また  
新しい暗黙知ができて  
くる。私たちがこれ  
をどう育てていくか  
が、経済成長を実現  
したのですが、「暗黙  
知」や「賢慮」を踏  
まえて、人を教育で  
変えていくことが  
難しいと感じま  
す。

### 真夏の給水

暑いよう  
慌てて飲んで  
鼻の中

最優秀賞 マコナさん(沖縄県)

日本バルブ工業会では広く一作品を募集し、懸賞している。  
般に向けてバルブの認知度を向 6回目となる今回は過去最高  
上し、親しみを持ってもらったの387作品が集まり、最優秀  
賞「バルブフォト五七五コンテ」賞など15作品が入賞。日本バル  
ブ工業会ホームページ(WWW.J-VALVE.ORG.JP)で全入賞  
活の中でどのように役立っているか、作品を見ることができ  
るのかを写真と川柳で表現した作品を見ることができ  
る。

## 信頼され成長するバルブ産業へ

環境配慮バルブ登録制度

一般社団法人日本バルブ工業会

バルブのイメージキャラクター  
ばるちゃん®

正会員企業115社 賛助会員65社

会長 中村 善典 (金子産業株式会社)  
副会長 小林 公雄 (株式会社キッツ)  
落合 潔 (兼工業株式会社)  
村井 米男 (株式会社オーケーエム)  
中村 政弘 (オーエヌ工業株式会社)

http://www.j-valve.or.jp/